

## 祖父母・シニアプログラムの手引き

「子育てを応援したい」「アドバイスをしたい祖父母・シニア世代も使えるプログラムを是非作成して欲しい」とのご要望から、祖父母が親の子育てにどうかかわっていくかを考えるショートプログラム2事例と、子育てを体験した時代が異なる祖父母世代と同居の若い世代の葛藤と歩み寄りや協力の仕方を考える「二人のシニアの体験から」、そして地域の伝統行事を守りたいシニア世代の苦悩と工夫を取り上げた「伝統行事の受け継ぎ」の4つの事例としました。使い方はこれまでのエピソードと同様でかまいませんが、下の表に4つのエピソードの使い方の例を示しますので、参考にしながら色々な使い方をお試してください。



祖父母・シニアの表1 プログラムの流れ（親子の会話にどうかかわりますか？①、②）

時間	活動	留意点
3分	1 エピソードの状況を把握した後、親だったら何と言うか、A～Eから選びましょう。	○親として、どう対応するか考えてもらいます。
3分	2 エピソードの状況に、祖父母の立場でどうかかわるか、A～Eから選びましょう。	○親の対応によって、祖父母の対応が変わることを考慮してもらいます。
3分	3 親（自分の子）には、どうかかわりますか？	○家族関係によっても変化するでしょう。
6分～20分	4 グループ・全体で意見交換しましょう。	○参加人数によって、時間を調整しましょう。





祖父母・シニアの表2 プログラムの流れ（二人のシニアの方の体験から）

時間	活動	留意点
10分	1 エピソードに登場するそれぞれの人々の気持ちを想像しましょう。	○自分がその場面にいると仮定して、自分ならどうするか考えてみましょう。
20分	2 5つの問に対して、一つずつ担当者を決めて、意見聴取と取りまとめをしながら進みましょう。	○5つの問に全員が答え合っていると時間が足りなくなる恐れがあるので、適宜選びながら進めます。
30分	3 グループ毎に話し合った内容と意見を紹介し合ひましょう。	○各グループが発表する問を1～2つに絞って、時間短縮もできます。
適宜	4 会場全体で、発表後に、感想や追加したい意見があれば自由に意見交換をしましょう。	○グループ毎の発表内容を限定した場合には、どうしても話したい、聞きたいということもでてくるので、自由に発言できるようにします。



祖父母・シニアの表3 プログラムの流れ（伝統行事の受け継ぎ）

時間	活動	留意点
3分	1 各自、エピソードを黙読しましょう。	○それぞれの地域にも伝統行事などの受け継ぎで、様々な体験や思いをしたことがないか、思い出してもらいましょう。困ったこと、良かったこと等あると思います。
5分	2 自分が子どもだった時の想いと、今の年齢になって気づいたことは、あるでしょうか。それとも考えは変わっていませんか？	○自分の体験と、自分が年を重ねてきたことで考えが変わったり、異世代から学んだこともあるかどうか考えてみましょう。
10分	3 お互いの体験や意見を聞き合ひましょう。	○様々な考え方を、受け入れることができるように配慮しましょう。
10分	4 お互いが歩み寄ったり、理解し合ったりするための工夫や極意を出し合ひみましょう。	○お互いが分かり合うための、色々なアイデアを出し合ひましょう。
適宜	5 各グループの代表的な意見を紹介し合ひましょう。	○会場全体で、同じ意見や異なった意見を共有し合ひ、視野を広げましょう。